

男女共同参画 川柳・標語・写真 コンテスト受賞作品を紹介

昨年12月から1月にかけて募集した、男女共同参画社会の啓発、推進を目的とした川柳・標語・写真の審査結果をお知らせします。何気ない日常の中で、「一人ひとりの個性と能力がキラリと光り輝いている」場面を切り取った様々な作品が集まり、審査の結果、以下の作品が受賞しました。

多数のご応募ありがとうございました。なお、4月12日(火)午後から22日(金)正午までの間、市役所1階ロビーで全応募作品を展示します。ぜひご覧ください。

- ・応募期間 平成27年12月10日～平成28年1月29日
- ・審査日 平成28年2月25日 *市男女共同参画推進会議で審査しました
- ・応募総数 一般の部14作品、小中学生の部264点、合計278点

一般の部

(敬称略)

【川柳】

- | | | |
|------|-------------------|-------------|
| 最優秀賞 | エプロンが二枚になった台所 | 鈴木 晴勝 (下村田) |
| 優秀賞 | ママよりも上手いと子らにのせられて | 後藤 俊一 (姥賀町) |
| 入選 | 理解しあい協力しあってすてきな社会 | 戸田真知子 (国長) |

【標語】

- | | | |
|-----|-----------------------|-------------|
| 優秀賞 | 男女の差なくして夢のある社会 | 小田倉量平 (宇留野) |
| 入選 | しもつけ草の咲くころは二人で小さな旅にでる | 蓮田 節子 (千田) |

【写真】

最優秀賞

「男子厨房に入らずは昔の話？」 立原千鶴子(泉)
わが家の二男は、学校から帰ってくると「今日はなに？」と聞きながら台所へ入ってきます。そしてまだ完成していないとわかると、手を洗ってさりげなく手伝ってくれます。2人で台所に立ちながらあれこれ話すこのひとときが、私の小さな幸せの時間です。



優秀賞

「美味しい蕎麦をつくろう！」 中崎 優子(三美)
じいじに教えてもらいながら、パパと子ども達みんな混ぜて、こねて、伸ばして、切って、楽しく作りました。「今年初めてのお蕎麦はとっても良く出来たね」とじいじも大喜び。みんなで美味しく、笑い合って食べました。



◆ ◆ 小中学生の部 ◆ ◆

(敬称略)

【川柳】

最優秀賞

家事分たん一人一人が家族の一員

疋田 康成 (御前山小3年)

優秀賞

せんとくをかぞくみんなでたんでる

石崎 巧海 (御前山小3年)

ぼくだって力になれるぞかぞくだもん

大谷 春貴 (大宮北小1年)

入選

性別を分ける前に人として

太田 雄蔵 (第二中3年)

母はお茶父マドレーヌよいコンビ

藤田 凜寿 (上野小2年)

決めないで男子と女子の境界線

工藤 美羽 (第二中1年)

【標語】

最優秀賞

家事分担力を合わせて笑顔の家族

延時 萌花 (第二中1年)

優秀賞

「男子だから」「女子だから」それでも互いを助け合う

小野瀬史華 (山方中1年)

入選

男と女支え合えばパラダイス☆

阿久津志生 (第二中2年)

出席番号男が先でも女が先でも関係ない

木村萌恵夏 (山方中1年)

これまでの考えを捨てよう協力していく社会をつくろう

大高 光結 (山方中1年)

男性、女性、違うところはあるけれど人間としては変わらない

三村 友彦 (山方中2年)

「～だから」それも一種の差別だよ

中鉢 茉依 (第二中2年)

【写真】

優秀賞

「もちつきの風景」

飛田 彩香 (第二中3年)

毎年1月のわが家の恒例行事です。

今では機械やできている物を購入する中、昔ながらのやり方で、まきで火をおこし、もち米をふかし、杵と臼でついでいる風景です。



■問い合わせ■ 市民協働課 市民協働グループ ☎52-1111 (内線126)



いっしょにまちづくり



【まちづくりは人づくり】～かわいい子には旅をさせよ～



木村 昌信さん

私たちは「久慈の杜100km徒歩の旅」を開催しています。これは、常陸大宮市・常陸太田市・太子町の小学校4年生から6年生を対象に、高校生・大学生・社会人のボランティアスタッフを募り、夏休みの暑い時期に4泊5日で100kmを歩ききる事業です。

「歩く」とは、生きていくうえで最も基本的な動作のひとつです。そして前進することは自分との闘いであり、葛藤でもあります。人生には苦しいこと、辛いこと、悲しいことがあります。それを乗り越えた時に真の感動や幸福がもたらされ、物事を成し遂げたときの喜びが生きる力を育みます。100kmの道のりを自分の力で完歩することで、子ども達が生きる力を身につけ、強い子ども達を育み、そこから我々大人が学び、地域教育力向上を図りたいと考えています。将来この地域の人づくりに繋がると信じ、平成28年度も開催します。ご支援をお願いします。